

環境コミュニケーション

環境学習への支援

埼玉県越谷市立大袋東小学校

環境教育プログラム「エコフェスティバル」への協力

埼玉県越谷市立大袋東小学校は、全校をあげて環境活動を実施しており、ピオトープなどに関するさまざまな表彰を受けています。

当社は、同校の環境教育プログラム「エコフェスティバル」において、同校児童に環境教育を行いました。「エコフェスティバル」への協力は、学校からの依頼により協力したものです。当社をはじめ東京電力、三菱電機、越谷市環境資源課や大袋東小学校の先生など16の団体・企業及び個人が環境に関する16のブースを開設して、児童に対して環境学習の場を提供しました。

「環境に配慮した印刷機とSOYインク」をテーマに印刷について話をしました。また、児童たちは、「環境に配慮した印刷機とSOYインク」について記載された資料を自分たちで2色印刷機「MZ770」を用いて印刷し、大切な資料として持ち帰ることができました。

児童たちは、資料に自分で書いた名前が、「MZ770」によって、赤色に変わって印刷されて出てくることに驚きの声をあげていました。



「環境に配慮した印刷機とSOYインク」の話を
する高橋環境対策推進部長



「MZ770」で印刷する児童たち

神奈川県川崎市立枳形中学校

環境教育プログラム「省エネ・環境講座2005」への協力

神奈川県川崎市立枳形中学校は、「平成17年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞されるなど、環境教育に熱心に取り組まれています。

当社は、同校の環境教育プログラム「省エネ・環境講座2005」で、「環境にやさしい印刷」をテーマに環境ワークショップを行いました。同校は、『地球環境を見つめ、自らの生き方を考える環境教育』と銘うって平成16年度から2か年に及ぶ環境教育プログラムを実施しています。当社は平成16年度に引き続いての参加となります。

当社の講座では、印刷が環境に及ぼす影響とSOYインクを用いた環境にやさしい印刷方式についてスライドによる説明を行いました。その後、参加した生徒たちにSOYインクを用いたガリ版印刷を体験してもらいました。鉄筆とヤスリ板を使ってロウ原紙にガリ切りをする所から、ゴムローラーをガリ版の上に押し付けて自作の原稿を手刷りする所まで、初めての体験に戸惑いながらもエンジンが発明した謄写印刷を楽しんでいました。

また、リソグラフ「MZ770」による同時2色印刷も体験してもらい、その仕上がりとスピードの早さを実感してもらいました。多くの生徒が1分間に150枚という印刷の速さと、同一原稿から2色印刷出来ることにびっくりしていました。最後に当社の環境への取り組みを紹介した後、生徒代表からお礼の言葉をもらい講座は終了となりました。参加した生徒に記載頂いたアンケート結果は大変良い評価でした。



鉄筆でロウ原紙にガリ切りする生徒たち



「MZ770」での印刷を説明

環境イベントへの出展・協賛

「愛・地球博」の万博事務局本部、EXPO ドーム、ならびに「地球市民村」事務局に、「オフィスHC5000」6台、「リソグラフMZ770」2台、「プリアオLP6800」3台を提供しました。これらのプリンター、印刷機は、同博覧会の運営中、イベントニュースやご案内のチラシなどの広告資料その他に活用されました。

